



MJCC マニラ日本語キリスト教会

MJCC GRACE NO. 32 2018-MAY

こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、（エペソ人への手紙 4：11,12）



教会ビジョン：

聖書を基として三位一体の神を礼拝し、永遠の家族として交わり、愛と一致をもって成長し続けている教会となる。

成長し続けるMJCCを目指して

C-BTE（教会主体の神学教育）に取り組んで早3年が経ちました。教会のビジョンの通り成長し続けるMJCCを目指して、どのように堅固な土台をかためていくかを模索してきました。C-BTEの基本原則の学びで明確に示された一つ一つを実行に移すために新しいステップを踏むように導かれています。

25年前、比国の宗教法人登録をしてから、役員は正会員の選挙によって選ばれてきました。聖書的に長老を任命することを目指して、3月に行われた年次会員総会での役員選挙を最後とし、規約を変えていく作業を始めています。そして来年1月には長老を任命するために4人の長老候補の兄弟たちが準備をしていくことになりました。

また、現存の奉仕に関しても4つのミニストリーグループ（教会学校・ユース、礼拝賛美、宣教・伝道、教育訓練）に再編成し、それぞれの働きが教会を建て上げられるような構想が与えられています。キリストの体が建て上げられるために、リーダーが機能し、それぞれの賜物が十分に生かされ用いられることを願っています。大きなチャレンジではありますが、良い働きを始められた主が完成させてくださることを覚え、ご聖霊の力により一致して歩み始めています。この小さな群れが主の救いのご計画を遂行するために必要な知恵と力が与えられることを確認した恵みの年次会員総会でした。

洗礼式・送別会

3月25日の礼拝の前に洗礼式が行われ2人の姉妹がその祝福にあずかりました。1人は矢野花子姉、もう1人は池村雅代姉です。MJCCの礼拝に出席するようになったのが去年の後半でしたが、それ以前にお二人の心にはそれぞれの友人が福音の種を蒔いてくださったのです。お二人ともMJCCに足を踏み入れたすぐに聖書をもっと知りたいという思いがあり基礎の学びをすることになったのです。姉妹たちの心はよく耕されていて、み言葉をどんどん吸収していきました。そして、今年初めには洗礼に向かったの歩みを確かにしていかれました。

I コリント人への手紙 3：6，7に「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。」とあります。この姉妹方がイエス様に出会うために背後で導きと祈りがあり、みことばの種が蒔かれ、水が注がれたことを覚えます。お二人ともフィリピンに住むようになって信仰の種の芽が出てきました。成長させてくださったのが神様であることを思い主の御名を賛美します。そしてMJCCにこの姉妹方が新しい家族のメンバーとして加えられたこと、さらにご一緒に成長できる幸いを覚え心から感謝しています。

また、MJCCで生まれ育ったヘロコモ介兄が4月から日本の大学に入学することになり、送別会もその日に同時に行いました。喜びと別れの涙を一緒に流した思い出深い日となりました。

（なお、矢野姉、池村姉の洗礼のお証を添付ファイルでお送りしますのでお読みください。）



池村雅代姉



矢野花子姉



おめでとう！ & さようなら！



ファミリーキャンプ



2018年2月24、25日、今年は場所をリザール・リクリエーションセンターへと変えて、ファミリーキャンプを開催しました。テーマは「あなたの隣人は誰ですか」。

初めてのファミリーも含めて38名（うち子供21名）が参加し、夜は、大人たち、ユースたち、小さな子供たちに分かれて、分科会を行いました。日曜の礼拝のお話は、梅澤兄による「隣人」について。子供たち（大人たちも）はプールやミニボートやペイントボール、ユースは夜のボンファイアなどを楽しみ、自然の中で豊かな時間を教会の家族として過ごすことができました。

今回は初めてユースが特別なグループとしての活動を企画することができました。MJCCがお世話になっているユニオンチャーチで世界宣教を推進しているチーム（“MEGUMIチーム”という名前のグループ）がこの数年MJCCと交流を続けており、私たちのユースに重荷をもってくださって奉仕してくださっています。そして、このキャンプをきっかけに、5月から教会学校と並行してユースグループが毎週始まりました。



ジューン先生

今年もジューン先生をUKウェールズからお迎えることができたことを心から感謝します。昨年から続いて、創世記からメッセージをしていただき、マナの会、ルデヤ会でもみ言葉を持って導いてくださいました。そして、毎日のようにMJCCに連なる一人一人と個人的に交わり、MJCCの“お母さん”として励ましてくださり、それぞれに主の力をいただきました。健康が支えられ、また来年も、マニラの“こどもたち”の成長を見に戻ってきてほしいです。以下、ジューン先生からのメッセージです。

“ジューン先生、いつもお祈りありがとうございます！”



ジューン先生も感激！子供賛美チーム



2018年2月...またMJCCへの招き...私にとって、大きな喜びと大きな特権でした。ありがとうございました!! もう一度MJCCの兄弟姉妹と交わることができたことは感謝でした。一年ぶりで教会のメンバーの、主にある成長を見て、賛美しました。礼拝に、青年たちも含めて 多くの兄弟姉妹が参加していることを感謝しました... たたとえば、賛美リーダー、賛美チーム、祈り、献金の祈りなど... また毎月一度CSの子供たちの賛美を見て、喜んで感謝しました。主は新しい人々を礼拝に導いてくださっていることも感謝でした。また、新しい読書会と英語クラスで 新しい婦人たちが毎週キリストの福音を紹介されていることは感謝でした... その種まきが収穫になりますように祈っています。

2月24日、東京での恵み会に出席できましたこともすばらしい祝福でした。主にある交わりは天国の喜びを味わうことでした。皆さんありがとうございました！ エペソ6:19 私たちが、マニラでも、日本でも、ウェールズでも.... 福音の奥義を大胆に知らせることができるよう.... 語るべきことを大胆に語れるように.... 続けてお互いに祈りましょう。

モンテンパの兄弟たちとのコミュニケーションはこの2年近く手紙を通してだけになっています。その手紙も所内の規制によって2月に書いてくださった手紙が5月に私たちのものに届くなど、今の現状を知ることが非常に難しい状態が続いています。抗争が起きるたびに規制が厳しくなっていることも報告がありました。MJCCが先回送った小包の中に入れた日本語の手紙および刊行物はすべて没収されてしまったようです。今回、ジョージ兄（仮名）のお証のお手紙を添付ファイルで配信させていただきます。困難な状況の中でも主にあって強くされて歩んでいる兄の信仰の姿によって私たちも励まされています。ぜひご一読ください。